

福島県・DPC登録24病院における  
MDC 18分類疾病の治療数合計について  
2010年（原発事故前）治療数を基準として

## 2011年、2012年治療数倍率の 4段階色分け評価

福島県・DPC登録24病院におけるMDC 18分類疾病の治療数合計について2010年（原発事故前）治療数を基準として2011年、2012年治療数倍率の4段階色分け評価

注1：DPCとは：D=Diagnosis（診療）、P=Procedure(手順)、C=Combination(組み合わせ) 略であり厚生労働省が導入した「診断群分類包括制度」である。

注2：MDCとは：Major Diagnostic Category のことでWHOが制定している“疾病及び関連語権問題野国際統計分類”に基ずく18区分の主要診断群のこと。

ページ数	内容
1	「D P C 導入の影響評価に係る調査」の初期画面とアクセス方法画面
2	福島県におけるDPC 2 4 病院の登録年数と告示番号
3	2010年DPC登録治療数に対する2011年、2012年診療数倍率の4段階色分け評価基準
4	福島第一原発事故により福島県内24病院で増加したMDC区分1～5の病名の4段階色分け評価
5	福島第一原発事故影響により増加したMDC区分6～10の病名における4分類色分け評価表
6	福島第一原発事故影響により増加したMDC区分11～15の病名における4分類色分け評価表

「DPC導入の影響評価に係る調査」の初期画面とアクセス方法画面  
注：「厚生労働省の導入したDPC導入の評価に係る調査」については、パソコン検索画面において  
<https://www://mhlw.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000049343.html>  
で、アクセスが可能。

## DPC導入の影響評価に係る調査

パソコンにより DPC データへアクセスするための方法：

方法 1：初期検索画面に以下のアドレスを入れる

<https://www://mhlw.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049343.html>

方法 2：初期検索画面に「DPC 導入の影響評価に関する調査」というキーワードを記入

DPC とは：Diagnosis Procedure Combination の頭文字をとったもの。Diagnosis(診断)、Diagnosis (治療・処置)、Combination (組合せ) という意味で「診断」と「治療・処置」を組み合わせ、「様々な疾病・病状の患者さんを分類するための指標で、これを「診断群分類包括評価」と呼んでいる。

### 統計の概要

統計の目的

統計の作成方法

統計の沿革

統計の目的：DPC 制度は「急性期入院医療の診断群分類に基づく 1 日当たりの包括評価制度」である。本調査はこの DPC の導入による影響の検証及び今後の DPC の継続的な見直しのために必要なデータの収集を目的とし、中央社会保険審議会の付託を受けた診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会の下、実施するものである。」

### 集計結果

結果の概要

利用上の注意

統計表一覧

用語の解説

正誤情報

利活用事例

クリックすると「平成 29 年度から平成 18 年度の DPC データ一覧表」が出てくる。

### 公表予定

公表予定

クリックすると「DPC データ公表予定時期」が出てくる。

### 過去情報

過去情報については、統計表一覧からご覧ください。

統計表一覧はこちら

クリックすると「平成 29 年度から平成 18 年度の DPC データ一覧表」が出てくる。

### その他

問い合わせ先

保険局医療課包括医療推進係

電話：03-5253-1111(内線3155)

# 福島県におけるDPC 24病院の登録年数と告示番号

注：下記の24病院は福島県内主要都市の主要病院がすべて含まれているので、24病院の疾病治療数合計は、福島県全体の疾病数情報を反映していると言える。

No	施設名	都道府県	2010年度の告示番号	2011年度の告示番号	2012年度の告示番号	2013年度の告示番号	2014年度の告示番号	2015年度の告示番号	2016年度の告示番号	2017年度の告示番号	2018年度の告示番号	病院類型
1	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	福島	9	9	10009	10009	10009	10009	10010	10010	10010	平成15年度DPC参加病院
2	竹田総合病院	福島	93	93	30145	30145	30145	30145	30161	30161	30166	平成16年度DPC参加病院
3	独立行政法人地域医療機能推進機構 二本松病院	福島	94	94	30154	30154	30154	30154	30170	30170	30170	平成16年度DPC参加病院
4	一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院	福島	160	160	20009	20009	20009	20009	20015	20015	30164	平成18年度DPC参加病院
5	公立藤田総合病院	福島	161	162	30156	30156	30156	30156	30172	30172	30178	平成18年度DPC参加病院
6	あづま脳神経外科病院	福島	393	393	30141	30141	30141	30141	30158	30158	30613	平成20年度DPC参加病院
8	公益財団法人 湯浅報恩会寿泉堂総合病院	福島	394	394	30149	30149	30149	30149	30163	30163	30169	平成20年度DPC参加病院
7	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院	福島	395	395	30148	30148	30148	30148	20014	20014	30168	平成20年度DPC参加病院
9	一般財団法人大原記念財団 大原総合病院	福島	776	776	30139	30139	30139	30139	30156	30156	30161	平成21年度DPC参加病院
10	福島赤十字病院	福島	777	777	30140	30140	30140	30140	30157	30157	30162	平成21年度DPC参加病院
11	一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 南東北福島病院	福島	778	160	20009	20009	30142	30142	30159	30159	30164	平成21年度DPC参加病院
12	済生会福島総合病院	福島	779	779	30143	30143	30143	30143	30160	30160	30165	平成21年度DPC参加病院
13	公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院	福島	780	780	30144	30144	30144	30144	20013	20013	20015	平成21年度DPC参加病院
14	公益財団法人星総合病院	福島	781	781	30147	30147	30147	30147	30164	30164	30170	平成21年度DPC参加病院
15	独立行政法人労働者健康安全機構 福島労災病院	福島	782	782	30150	30150	30150	30150	30166	30166	30172	平成21年度DPC参加病院
16	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院	福島	783	783	30152	30152	30152	30152	30168	30168	30174	平成21年度DPC参加病院
17	公立岩瀬病院	福島	784	784	30153	30153	30153	30153	30169	30169	30175	平成21年度DPC参加病院
18	北福島医療センター	福島	785	785	30155	30155	30155	30155	30171	30171	30177	平成21年度DPC参加病院
19	会津中央病院	福島	1289	1289	39146	30146	30146	30146	30162	30162	30167	平成22年度DPC参加病院
20	いわき市立総合磐城共立病院	福島	1290	1290	30151	30151	30151	30151	30167	30167	30173	平成22年度DPC参加病院
21	松村総合病院	福島	1450	1450	20013	20013			30165	30165	30171	平成26年度DPC参加病院
22	坂下厚生病院	福島			90144	90144	90144	90144	90092	90084	90084	
23	塙厚生病院	福島			90145	90145	90145	90145	30173	01179	30179	
24	医療生協わたり病院	福島	1474	1474	90022	90022			90015	90015	90013	平成19年度新規DPC準備病院

2022年10月13日  
山田國廣著「福島県のDPC登録24病院におけるMDG区分  
疾病の原発事故前に比べた2011年・2012年の治療数倍率  
の4段階評価

# 2010年DPC登録治療数に対する2011年、2012年診療数倍率の4段階色分け評価基準

表：過剰相対倍率の原発事故影響に対する4分類色分け評価基準

原発事故影響の4段階色分け表示	評価基準の内容
軽微故影響有	2011年、2012年治療数と2010年治療数を比較した過剰相対倍率のどちらかが1.1～1.29(ベージュ色数値表示) の場合
影響有	2011年、2012年治療数と2010年治療数を比較した」過剰相対倍率のどちらかが1.3～1.49（青色数値表示） の場合
重大影響有	2011年、2012年治療数と2010年治療数を比較した過剰相対倍率のどちらかが1.5（赤数値表示） 以上である場合
重大影響可能性有	2010年の治療数報告が空欄。①2010年の治療実績が0～9件であった場合。 ②2010年には診療対象になっていなかったが、原発事故後に患者が増え治療したため、順位が大幅にアップした場合。



◎福島第一原発事故により福島県内24病院で増加したMDC区分1～5の病名の4段階色分け評価  
福島県24病院の2010年度(事故前)、2011年度、2012年度の診療数・手術数のDPCデータより算定した  
「福島第一原発事故影響により増加した病名の4分類色分け評価表(疾病区分1～5)」

原発事故影響の4色 色分け分類	軽微な原発事故影響有	原発事故影響有	重大な原発事故影響有	重大な原発事故影響の可能性有
原発事故影響の4 段階色分け分類の 基準	2011年、2012年度の事故前 診療数との比較倍率のどち らかが1.1～1.29の場合 (ベージュ色数値)	2011年、2012年度の事故前診療数と の比較相対倍率のどちらかが1.3～ 1.49の場合(青色数値)	2011年、2012年度の事故前診療数との比較相対倍率のど ちらかが1.5以上の場合(赤色数値)	2010年度の診療数が未記入(9件以下か 未診療のどちらか)で、2011年度、 2012年度に10件以上の診療数がある場 合
	↓	↓	↓	↓
MDC (Major Diagnostic Category)疾患区 分:	病名(カッコ内数値は比較 相対倍率):赤字は悪性腫 瘍でガン	病名(カッコ内数値は比較相対倍 率):赤字は悪性腫瘍でガン	病名(カッコ内数値は比較相対倍率):赤字は悪性腫瘍 でガン	病名(カッコ内数値は比較相対倍 率):赤字は悪性腫瘍でガン
(1) 脳・神経系 疾患	①脳腫瘍(1.2)	①脳梗塞(1.3) ②てんかん(1.4)	①非外傷性硬膜下血腫(1.8) ②外傷性頭蓋内血腫(1.5) ③脳脊髄の感染を伴う炎症(1.9)	①水頭症(高倍率) ②突発性(単)ニューロパチー(高 倍率)
(2) 眼科系疾患	①黄斑・後極変性(1.2)		①白内障(1.6) ②斜視(1.5) ③緑内障(1.5) ④糖尿病性増殖性網膜症(1.9)	①眼瞼下垂(高倍率)
(3) 耳鼻咽喉科 系疾患	①頭頸部悪性腫瘍(1.2)		①耳・鼻・口腔・咽頭の腫瘍(2.0) ②前庭機能障害(1.8) ③扁桃周囲腫瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎(3.4) ④顔面神経障害(2.4) ⑤睡眠時無呼吸(1.5)	
(4) 呼吸器系疾 患	①呼吸不全(1.1)	①肺の悪性腫瘍(1.3) ②肺炎、強制気管支炎、急性細気管支 炎(1.4)	①慢性閉塞性肺疾患(1.5) 気胸(1.6)②	①誤嚥肺炎(高倍率)
(5) 循環器系		①心筋梗塞(1.3) ②狭心症、慢性虚血性心疾患(1.4)	①心臓弁膜症(2.3) ②頻脈性の不整脈(1.5) ③閉塞性動脈疾患(2.9)	①心不全(高倍率)

福島県24病院の2010年度（事故前）、2011年度、2012年度の診療数・手術数のDPCデータより算定した  
**「福島第一原発事故影響により増加したMDC区分6～10の病名における4分類色分け評価表（疾病区分6～9）」**

原発事故影響の4段階色分け分類	軽微な原発事故影響有：ベージュ色	原発事故影響有：青色	重大な原発事故影響有：赤色	重大な原発事故影響の可能性有：茶色
MDC（Major Diagnostic Category）疾患区分：	2011年、2012年度の事故前診療数との比較倍率のどちらかが1.1～1.29の場合：ベージュ色	2011年、2012年度の事故前診療数との比較相対倍率のどちらかが1.3～1.49の場合（青色数値）	2011年、2012年度の事故前診療数との比較相対倍率のどちらかが1.5以上の場合（赤色数値）	2010年度の診療数が未記入（9件以下か未診療のどちらか）で、2011年度、2012年度に10件以上の診療数がある場合（高倍率は茶色表示）
（6）消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	①食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（1.2） ②ヘルニアの記載のない腸閉塞（1.2）	①胃の悪性腫瘍（1.3） ②大腸の悪性腫瘍（1.3） ③直腸肛門の悪性腫瘍（1.3） ④胆嚢胆外胆管の悪性腫瘍（1.3） ⑤肝・肝内・胆管の悪性腫瘍（1.3） ⑥大腸小腸の良性腫瘍（1.4） ⑦胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（1.3） ⑧慢性C型肝炎（1.4）	①膵臓・脾臓の悪性腫瘍（1.5） ②胃の良性腫瘍（1.7） ③肝硬変（1.7） ④鼠径ヘルニア（1.5） ⑤虚血性陽炎（2.1） ⑥胆嚢水腫・胆嚢炎等（1.5） ⑦胆嚢疾患（胆嚢結石など）（1.9） ⑧胆管結石、胆管炎（1.6） ⑨急性膵炎（2.1）	
（7）筋骨格系疾患		①骨の悪性腫瘍（1.4） ②椎間板変性、ヘルニア（1.4）	①全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患（1.5） ②膝関節炎（変形性を含む）（3.9） ③上肢末梢神経麻痺（2.8） ④骨軟部の良性腫瘍（1.9）	
（8）皮膚・皮下組織疾患			①黒色腫（1.7） ②皮膚の悪性腫瘍（1.8） ③急性膿皮症（1.5） ④皮膚の良性腫瘍（2.7） ⑤母斑、母斑症（2.0）	
（9）乳房の疾患		①乳房の悪性腫瘍（1.3）		
（10）内分泌系・栄養・代謝に関する疾患		①甲状腺の良性腫瘍（1.4） ②副腎皮質亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍（1.4） ③褐色細胞腫、パラガングリオーマ（1.4）	①甲状腺の悪性腫瘍（2.0） ②下垂体機能亢進症（5.0）	

福島県24病院の2010年度(事故前)、2011年度、2012年度の診療数・手術数のDPCデータより算定した  
「福島第一原発事故影響により増加したMDC区分11～15の病名における4分類色分け評価表(疾病区分11～15)」

原発事故影響の4段階色 分け分類： 白は影響なし	軽微な原発事故影響有： ベージュ色	原発事故影響有： 青色	重大な原発事故影響有： 赤色	重大な原発事故影響の可能性 有： 茶色
MDC (Major Diagnostic Category) 疾患区分：	2011年、2012年度の事 故前診療数との比較倍率 のどちらかが1.1～1.29 の場合：ベージュ色	2011年、2012年度の事故前診 療数との比較相対倍率のどちら かが1.3～1.49の場合：青色	2011年、2012年度の事故前診療数との比較相対倍率 のどちらかが1.5以上の場合：赤色	2010年度の診療数が未記入（9件以下 か未診療のどちらか）で、2011年度、 2012年度に10件以上の診療数がある 場合：高倍率は茶色表示
(11) 腎・尿路系疾患 及び男性性器系疾患		①腎腫瘍 (1.3)	①前立腺の悪性腫瘍 (1.9) ②膀胱腫瘍 (1.5) ③腎盂・尿管の悪性腫瘍 (1.8) ④前立腺肥大 (2.1) ⑤腎臓または尿路の感染症 (1.5) ⑥子宮の良性腫瘍 (1.6)	
(12) 女性性器系疾患 及び産褥期疾患・異常妊 娠分娩		①卵巣の良性腫瘍 (1.4)	①卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 (1.5) ③分娩の異常 (1.7) ④妊娠早期の出血 (1.5) ⑤早産・切迫早産 (1.5)	①子宮頸部・体部の悪性腫瘍 (高倍率)
(13) 血液・造血器・ 免疫臓器疾患		①非ホジキンリンパ腫(1.3)	①貧血(その他) (1.5) ②白血球疾患 (2.2)	①再生不良貧血(高倍率)
(14) 新生児・先天奇 形			①妊娠期間短縮による低体重出生 (1.5) ②停留精巣 (2.2)	①手足先天奇形(高倍率) ②心室中隔欠損症(高倍率) ③水頭症(高倍率)
(15) 外傷・熱傷・中 毒			①頭蓋・頭蓋内損傷 (1.5) ②股関節大腿近位骨折 (1.5) ③足関節・足部の骨折、脱臼 (2.0) ④胸椎腰椎以下骨折損傷(胸・骨髄損傷を含む) (1.5)	
合計数(5分類評価別、 該当病気の件数)	「 <b>軽微影響有</b> 」に該当す る病気は6件、うちガン は2件	「 <b>影響有</b> 」に該当する病気は25 件、うちガンは10件	「 <b>重大影響有</b> 」に該当する病気は55件、うちガンは9 件	「 <b>重大な影響の可能性有</b> 」に該 当する病気は8件